

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム めぐみ	評価実施年月日	平成 21年 3月 4日
評価実施構成員氏名	岡本 小林 広瀬 村田 松田 板沢 浅野 山崎		
記録者氏名	山崎	記録年月日	平成 21年 3月 16日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>運営理念の中に地域とのかかわりを大切にする事をあげている。</p>		
<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>スタッフルーム(事務所)に掲示していつでも見る事が出来る様にしている。</p>		<p>管理者、職員との話し合いを行い理念の共有を進めたい。又、いつでも見られるよう職員が携帯している。</p>
<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>一階廊下に掲示しており、毎日見る事が出来る様になっている。</p>		<p>運営推進会議などを通して伝えていきたい。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>ごみ投げ、散歩、買い物へ出かけた際は近所の人と挨拶を交わしている。一階部分に休憩できるスペースを作っている。</p>		
<p>地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>交通安全パレードへ入居者と職員が参加したり、地域交流会、子ども110番の地域での取り組みに職員が参加したりして交流するように努めている。</p>		
<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地区の社会福祉協議会が行った地域ニーズに基づく交流会に参加して地域の高齢者のニーズがどこにあるかなどの把握に努めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	評価結果を職員に提示し、サービス改善に活かすようにしている。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では施設での取り組みに対しての要望、助言を伺い検討するようにしている。		運営推進会議において評価の取り組み状況を話題にして話しあうようにしたい。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	市への管理上の報告をしたり介護認定申請時などに出向いて、市との連絡を行い助言を頂いている。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	地域権利擁護事業や成年後見制度があるという事は職員間の話し合いで周知している。必要な人への支援の準備を行っている。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員間のミーティングで虐待への話し合いを行い、職員同士が入居者への対応について振り返りを行い防止に努めている。		
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族に入居時に契約についての説明を行っている。また、来所時にもその都度、不安、疑問点を伺うようにしている。		利用者や家族の不安、疑問点を尋ね、気軽に話して頂けるようさらに努めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者に個別に話をする機会を持ち、意見、感想を伺っている。</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>面会時には必ず、職員より近況報告をしている。また、出納報告を文書でお知らせしている。</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の来訪時、意見を伺い職員間の話し合いで検討し運営に反映させている。</p>		
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員との話し合い等で意見を聞き、日常業務に活かしている。</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>入居者の状況に応じて、職員からの意見、要望を聞き、必要な人員を配置できるように柔軟な対応を行っている。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員の移動はやむをえない理由を除いて行わないようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	法人内部で新人研修が春、秋に計画され実施されている。	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	グループホームのネットワークとして北海道認知症高齢者グループホーム協議会道北ブロック連絡協議会に入会し、多くの情報を得たり、交流を行っている。	道北ブロック連絡協議会主催の研修会には、ほぼ毎回、職員が参加している。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	休日は極力、本人の希望を聞いている。	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	職員個々への適時の普段の声かけを行い、向上心を持ってもらうよう努めている。	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	入居前に本人、家族への訪問を行い、本人の話を傾聴するようにしている。それまで生活していた家を訪問し部屋、家具などを拝見し、生活の様子を知り本人への理解に努めている。	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	入居後の初期の家族来所時、その都度、家族の思い、希望を聞き家族が安心して頂けるようサービスができるよう努めている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族の状況、何を希望しているかをよく聞き状態に応じた対応、支援が出来るよう努めている。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に見学をして頂き、職員や施設の様子をみて頂いている。入居後は本人が安らげるよう環境づくりに取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	職員、利用者と良い関係を築きながら助け合い一緒に過ごし支えあっている。利用者から職員が学ぶこともあり傾聴を心がけている。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	御家族の面会時には本人の最近の状況を報告している。また、本人の状態に変化が見られた時には速やかに連絡を取り経過報告し、一緒に本人を支える関係を心がけている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	御家族の来訪時には、本人とゆっくり過ごせるよう配慮している。御家族と外出等の機会もあり、よりよい関係が築いていけるよう努めている。		集団外出等の行事のお誘いを行っている。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族や友人や知人に気軽に来訪して頂き、ゆっくり楽しい時間を過ごして頂けるよう支援している。また、地域の行事にも参加し地域の方々との交流にも努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	孤立しがちな利用者は職員が関わり一緒になって交流できるよう機会を作り、入居者同士が過ごせる配慮をしている。		入居者同士の相性を考慮し、トラブルを早期発見、解消できるよう対応している。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	いつでも気軽に立ち寄ってもらえるよう声掛けを行っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向や要望の把握に努めている。可能な限り希望に添えるよう努力している。又、思いや意向を伝えるのが困難な方の場合には本人の思いについて職員で話し合ったり、ご家族に聞いたりして把握に努めている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族等からの情報をもとにお話を伺い、毎日の会話の中からどんな生活をしてきたのかを聞いて、記録に残している。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	本人の出来る事、出来ないことを観察し記録し、無理なく一日を過ごせるよう取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	職員のカンファレンスをはじめケアプラン作成時にはご家族へ提示、説明し、意見、要望を伺い作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的に事前に担当者会議を行い、入居者の現在の状態に合ったケアを話し合い、計画に反映するようにしている。変化があれば見直しを行っている。		
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランは職員が共有できる場所で、いつでも見る事が出来るようにしている。モニタリングを行い担当者会議を定期的に行っている。		朝の申し送り等で入居者の変化や職員の気づいた事などを話し合い情報を共有している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人、家族の状況、要望に応じた個別的な対応を行っている。外出、外泊ではご家族の都合を優先し、一緒に行動できるようにしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の行事の参加、散歩、買い物等で、ご近所の方との挨拶、交流を図っている。		
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	必要時、他のサービス等を紹介できるようにしている。		地域のサークル活動への参加にも積極的に取り組んでいきたい。
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて支援に関する情報を頂いたり、協力関係を築いている。		本人の意向を大切にして、地域包括支援センターと協働していきたい。



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>同一法人で母体が内科クリニックであるため医療連携への家族の期待が高く、安心して頂けるよう随時、連絡や相談をし、往診や受診を援助している。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>かかりつけ医師に相談、連絡をとり状況により認知症の専門医院への受診が出来る準備をしている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>医療連携体制により毎週1回、同一法人の医院の看護師の来所により、援助を受け、健康管理に対する適切な指導、助言を頂いている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>利用者、家族と連絡を取り話し合いを進め、退院が早期になるようにしている。</p>		<p>入院先の医療相談員との連絡をとり、相談できる関係を築いていきたい。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>重度化した場合や終末期への本人、家族の希望を聞き、チームでの出来る限りの支援に努めている。看取り体制について、ご家族と施設側での話し合いを行っている。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>かかりつけ医への連絡、相談を随時行い、施設側で出来る事の支援を行っている。本人や家族の終末期の希望を確認し進めている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>退居時には、管理者、ケアマネジャー、ご家族との話し合いが行われ、本人の状態やご家族の希望を十分に確認し、本人に合った環境と考えられるサービスへと移行している。次のサービスへの連絡、調整も行っている。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>スタッフは個人情報を必要以上に出すことはせず、外部に出さない様に取り扱っている。また、一人ひとり、言葉の受け止め方を十分に把握し声かけを行っている。</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>個々の能力にあわせ、様々な要素を取り入れ、本人の思いや希望を伺えるようにしている。また、思いを伝えるのが困難な方はご家族のご協力を頂いている。</p>		
<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>食事、お茶、おやつ以外の時間を個々を中心に考え、日中はそれぞれが自由に生活しており、散歩や買い物等に付き添えるよう職員の動きを調整し実行している。その他は見守りを行っている。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>その人らしいおしゃれができるよう見守り、出来ない所をお手伝いしている。理・美容は可能な限り本人の望むようにしている。</p>		
<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>利用者と職員が可能な限り一緒に食事準備、片付けを行い、支援している。</p>		<p>今までも行ってきたように利用者との関係を大事に支援していきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	通常の食事や行事以外にも利用者の好みのものを作ることもある。		食事会を兼ねて好みのものを一人ひとりの状況に合わせて楽しめるようにしたい。
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう援助している。トイレの個数が限られている為、入居者同士のトラブルがないようポータブルトイレを設置して対応できるようにしている。		適時、職員からの声かけを心がけ、トイレ誘導等援助していきたい。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しんで頂くよう援助している。		今後、一人ひとりの希望に細やかに対応し、曜日、時間帯に応えたい。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	室温、居室の明るさ、清潔に配慮し一人ひとりの生活習慣に合わせて休息、入眠して頂くよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの状況に合わせて好きな歌を歌ったり、職員と一緒に話し笑ったりする気晴らしの支援を行っている。		月に1回程度、楽しい行事を行っていきたい。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人ひとりの力に応じ、時には家族の協力を頂きながらお金の所持、使用を支援している。		買い物の際は、本人が支払いできるよう見守り、必要時は助言している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩、買い物等、入居者の希望に沿い、可能な限り支援している。		近くのスーパーへの買い物等、短時間でも外に出る機会を増やしていきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	集団外出の機会を設け、外へ出る楽しみを持って頂けるようにしている。		本人は今、どこに行きたいと思っているのか、どうしたら実現できるのか、職員で話し合い、家族にも協力して行っている。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	いつでも希望があれば電話や手紙等、使用可能である。		本人の意向を確認し、職員がきっかけ作りをして手紙を書いたり、電話する機会を作っている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも来訪可能で規制はなく、ご家族、友人等が好きな時間に面会できるようになっている。		ご家族、友人の方が、又来たいと感じていただけるよう入居者の方の思いを伝えたり、共に居心地よく過ごせるような調整や配慮を心がけるようにしたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束をしな いケアに取り組んでいる。	身体拘束については指導を受けており、身体拘束はしていない。		身体に危険が生じる方などには、注意深く見守りや付き添う等の配慮に取り組んでいる。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解しており、 鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関は日中、開放している。二階階段の入り口には転落防止用の柵はあるが、適 時、自由に出入りできる暮らしを支援している。		離所等がないよう必ず、目視するようにし、又、利用者に声かけするなど 安全面に配慮している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	職員は利用者の様子を把握しながら見守り、調理、事務等を行っている。夜間は巡回の他、状況、状態に応じ様子確認を行っている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの状態に応じて保管場所、管理方法について取り決めを行っている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	緊急時対応マニュアルがあり、職員は把握している。		転倒等を繰り返さないよう職員が意識を高める様にしたい。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	緊急連絡網を作成し対応に備えている。万が一、事故が発生した場合は、対応した職員は事故報告書を作成しミーティング等で話し合うなど改善に努めている。		今後も変化や急変に対応できるよう学んでいきたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年2回避難訓練を行っている。周辺地域の諸施設、商店、老人保健施設ふれあいなどからの協力を得る事が出来る。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居時から、御家族への説明、同意を頂き常に説明を行っている。体調の異常時などにはかかりつけ医へ報告し、往診、又は受診介助を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>日常の状態を把握し、ちょっとした変化でも早急に対応を行い、また必ずその日、他職員へ申し送りを行っている。</p>	<p>平素の状態を把握する事により異変の発見につなげていきたい。</p>
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>医師の指示通りの内服の支援を出来ている。職員が薬の内容や副作用について申し送りなどで確認したり、効用について話題にしている。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>薬だけに頼らず普段の食生活、水分摂取、運動、生活リズムに気をつけている。</p>	<p>リズム体操、散歩などに取り組み、日課にしたり継続して支援したい。</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後、利用者ご自身でできる方は見守りを行い、また、声掛けや介助を行うことで口腔衛生に配慮している。歯の状態に応じて、歯科往診治療を実施している。</p>	<p>夜間は、入れ歯洗浄剤にて入れ歯を洗浄し清潔を心がけたい。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量、水分量、排泄状況の観察を行い、一人ひとりの状態に応じた支援をしている。</p>	
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>手洗い、うがいを励行している。インフルエンザの予防接種を行っている。感染予防に関する研修会に参加しマニュアルも用意している。</p>	<p>今後も感染症に関する研修会等に参加し情報収集を行う。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>毎日、塩素系漂白剤を使用しふきんやまな板等の調理用具を消毒している。食材も毎日届き新鮮な物を使用している。</p>		<p>今後も徹底し、常に新鮮な食材を使用し食中毒予防、衛生管理を行う。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>ホームのまわりに花や野菜を植えている。玄関にベンチを置き、休めるようにしている。</p>		<p>御家族、近隣の方にも気軽に出入りして頂けるよう温かい雰囲気になるよう心掛けている。</p>
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感のある装飾を飾ったり、行事で撮った写真を貼ったり居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下にはソファや椅子があり利用者同士で会話されたり、テレビ視聴されたり一人ひとりその時の気分に合わせてくつろげるように工夫している。</p>		<p>利用者が自由に過ごすことが出来るよう配慮していきたい。</p>
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時に本人、御家族と相談し馴染みの物を持ってきて頂き、家にいる時と同じような空間作り、居心地よく過ごせる環境づくりに努めている。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>各居室、ホールに温度計、湿度計を置き入居者の様子を確認しながら調整している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>必要最低限として、階段、廊下、トイレ、浴室に手すりの設置、廊下にはいつでも休息できる椅子を数ヶ所に配置している。</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>居室からトイレへ間違わずに行けるように、トイレ、洗面所は二十四時間電気をつけている。居室(その利用者により)ドアにのれん、飾りをさげて分かりやすくしている。</p>	
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関先にベンチを置いたり、夏場は玄関前にプランターに花を植えて置いているので、その手入れを入居者と一緒に行っている。</p>	



. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者            利用者の2 / 3くらい            利用者の1 / 3くらい            ほとんど掴んでいない</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある            数日に1回程度ある            たまにある            ほとんどない</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者            利用者の2 / 3くらい            利用者の1 / 3くらい            ほとんどいない</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者            利用者の2 / 3くらい            利用者の1 / 3くらい            ほとんどいない</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者            利用者の2 / 3くらい            利用者の1 / 3くらい            ほとんどいない</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者            利用者の2 / 3くらい            利用者の1 / 3くらい            ほとんどいない</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者            利用者の2 / 3くらい            利用者の1 / 3くらい            ほとんどいない</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族            家族の2 / 3くらい            家族の1 / 3くらい            ほとんどできていない</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように            数日に1回程度            たまに            ほとんどない</p>

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている</p> <p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>ほぼ全ての職員が 職員の2 / 3くらいが 職員の1 / 3くらいが ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2 / 3くらいが 利用者の1 / 3くらいが ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての家族等が 家族等の2 / 3くらいが 家族等の1 / 3くらいが ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 入居者の体力維持に歩くことや、職員も一緒にちり紙はなびら作り、手まり遊びなどを行って気分転換等になるよう行っている。